

第62回
気仙沼みなとまつり

報告書

開催日：平成25年8月10日（土）
8月11日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

1. 開催にむけての経緯（主催団体長会議・企画部会活動）

(1) 平成24年11月に行われた気仙沼みなとまつり委員会の主催団体長会議において、平成25年の「第62回気仙沼みなとまつり」開催が決定された。

会議の席上では、「打ちばやし大競演」の復活開催を望む声が多く、以後、実施に向けての検討が進められることとなった。

(2) 日程について、東日本大震災の被災地での花火打ち上げを行ってきた「LIGHTUP NIPPON」と合わせての8月10日、11日開催案と従来のみなとまつりの原則日程である8月3日、4日開催案とが挙げられていた。

LIGHTUP NIPPON 実行委員会側からは、本年の8月11日が日曜日にあたるため気仙沼でも引き続き被災地一斉打ち上げに参加して欲しいこと、メイン会場を前回と同じく気仙沼で開催したいとの思いが伝えられていた。地元の LIGHTUP NIPPON 関係者側からもメイン会場を気仙沼で開催することで地元の若年層がみなとまつりを通して中央の流行に触れる良い機会を持たせたい、との思いが寄せられていた。一方で地元の慣習に従い、お盆期間に近い時期はお盆の準備を優先するため、みなとまつりは8月第1週に戻すべきとの意見もあった。

本年3月に行われた企画部会第1回会議の席上でも委員それぞれの意見をだしあった結果、8月11日が平成26年以降は平日にあたるため、本年が日曜日開催となることで相応の集大成になるものと思われ、これまでの経緯も踏まえて、LIGHT UP NIPPON に歩調を合わせようという意見が多くなり、日程については、8月10日、11日で決定された。

(3) 海上行事の会場と内容については、岸壁の復旧工事が進む中で、お盆を前に寄港する漁船の集中が見込まれ、制約を受けることが考えられていた。従来のように内湾を海上行事の会場とすることは困難との見通しとなり、海上うんづらや灯籠流しについては陸上での開催や中止も含めた代替案を企画部会等で検討することとなった。また、復活が望まれていた打ちばやし大競演や海上花火大会についても会場候補地の選定を企画部会等で検討することとなった。

(4) 4月の主催団体長会議で骨子を提示、その後は、企画部会および打ちばやし幹事会等で、日程、会場、行事内容などを検討していった。企画部会については11回、打ちばやし幹事会については7回、それぞれ会議を重ねていき、8月の主催団体長会議で実施内容の詳細を諮った。

8月の主催団体長会議に諮った実施内容については下記のとおり。

8月10日(土)

□昼の部

○「オープニングセレモニー」

(田中前大通り・北日本銀行駐車場) 14:15 ~14:45

○街頭パレード

(田中前大通り・パレードコース約670m) 14:45 ~16:30

□夜の部

○「はまらいんや踊り」

(田中前大通り) 17:30 ~20:00

8月11日(日)

○「打ちばやし大競演」

(港町臨港道路) 17:00 ~20:00

○海上打ち上げ花火(LIGHT UP NIPPON)

・被災地一斉打ち上げ

(気仙沼湾内) 19:00 ~19:05

・みなとまつり花火大会

(気仙沼湾内) 19:20 ~20:00

○「閉会セレモニー」

(港町臨港道路) 20:00 ~20:05

☆出店

(港町地内) 14:00 ~20:00

協賛行事

- 7月27日（土）海上自衛隊横須賀音楽隊気仙沼公演
（気仙沼市民会館大ホール） 1回目 13:00～ 2回目 18:00～
- 8月 4日（日）佐渡裕&スーパーキッズオーケストラ演奏会
（気仙沼中学校体育館） 10:00 ～11:45
- 8月10日（土）南町紫市場 ‘13夏まつり
（気仙沼復興商店街南町紫市場） 10:00 ～18:00
- 8月11日（日）LIGHT UP NIPPON スーパーソーラー縁日
（気仙沼小学校グラウンド） 12:00 ～19:00
POKEMON with YOU キャラバン 2013
（港町・スガノ興産(株)様 駐車場） 14:00 ～20:00
南町紫市場 ‘13夏まつり
（気仙沼復興商店街南町紫市場） 10:00 ～21:00

（5） 行事・日程・会場について前回からの変更

8月11日をLIGHT UP NIPPONの花火打ち上げに固定しているため、前回は初日に実施した海上打ち上げ花火大会については2日目に移動した。今回、復活した打ちばやし大競演については、2日目の海上打ち上げ花火と合わせて港町臨港道路を会場として開催することとなった。

前回は2日目に行った陸上行事（街頭パレード・はまらいんや踊りなど）については、初日に移動した。

海上うんづらは内湾での運航ができなくなったため、港町臨港道路の打ちばやし大競演会場にメインステージとして設営した。灯籠流しは代替の会場が確保できなかったため、今回は中止とした。

2. みなとまつり委員会内の各部会・委員会の準備活動について

総務部会 : 各部会の連絡・調整。海上規制や交通規制のための関係当局との調整。出店設置のための準備・調整。

広報部会 : まつりチラシの作成・配付、まつりポスターの作成、メディアへの対応。なお、今回のポスターデザインもLIGHT UP NIPPON実行委員会が協力。

警備部会 : 交通規制実施に向けての関係当局との調整。まつりに係る事故防止に向けて、防犯、交通指導、消防などに関する市民団体との連絡・調整。

大口協賛金募金委員会 : 大口協賛金などの集金、街頭募金の実施、まつり募金箱の設置・回収のための準備と会議の実施。

3. まつり行事内容について

＜8月10日（土）＞

(1) オープニングセレモニー

午後2時15分に開始。(社)気仙沼青年会議所メンバーによる「銀鱗太鼓」の演奏、大会会長である菅原茂市長、駐日インドネシア共和国大使館ジョニーシナガ公使の挨拶、来賓紹介までを北日本銀行気仙沼支店駐車場内のメインステージで行った。

その後、街頭パレードの出発式のため、会場をパレードのスタート地点に移動、大会会長、来賓、関係役員が臼井賢志実行委員長の掛け声と気仙沼市民吹奏楽団のファンファーレを合図にテープカットを行って、街頭パレードのスタートに繋がった。

(2) 街頭パレード

田中前大通りのモスバーガー付近から朝日生命付近まで、途中停止演技を織り交ぜながら、街頭パレードが行われた。先導車の1台めには、小野寺五典防衛大臣、菅原大会会長、ホヤぼーやが乗車、2台めにはジョニーシナガ公使と臼井実行委員長、臼井真人市議会議長が乗車、以下、参加団体がそれぞれの間合いで続き、パレードが進行した。

気仙沼商工会議所青年部インドネシアパレードには国内外からの支援者も含めて総勢130名が参加し、まつりのスタートにふさわしい大行列となった。

地元の企業や団体が中心の構成であったが、市外からも一関市室根町の屋中郷土芸能保存会、山形県東根市の陸上自衛隊第6音楽隊が参加しパレードを盛り上げた。今回、特別参加となる愛媛県新居浜市の「新居浜太鼓台を東北に！プロジェクト実行委員会」では、高さ5m余りの豪華絢爛な太鼓台を披露、これを150人近い若者が担ぎ続け、大きさと迫力で多くの観客を驚かせた。

全参加団体がメインステージ前を通過した後、ステージ上では「ホヤぼーや切手」の紹介と早稲田大学の学生による「ホヤぼーや体操」のお披露目が行われた。

なお、オープニングセレモニー、出発式、参加団体紹介などの司会は、地元出身のフリーアナウンサー岩手佳代子さんと気仙沼青年会議所の担当者が務めた。

街頭パレードが震災前は日曜日に実施されていたのに対して、今回は会場となる田中

前大通りについて2日間にわたり交通規制をかけることは難しいと判断して、土曜日の実施とした。しかし、一部の参加者からは、土曜日の開催だと準備のための人員が確保しづらいので、震災前と同じ日曜日の開催としてほしい、との申し出を受けている。街頭パレードの日程については、次回以降、慎重な審議が必要と思われる。

(参加14団体、約1,050名)

(3) はまらいんや踊り

街頭パレードの終了後、当初の開始予定時間(午後5時30分)通り、はまらいんや踊りが始まった。ただし、開始予定の時点で参加団体の整列が済んでいない箇所もあったため、輪踊りが順調に進むまでは少々の時間を要した。

はまらいんや踊りには、市内の学校、サークル、事業所から参加者が集まったほか、この日のために帰省してきた気仙沼市出身者、そして、震災直後から気仙沼のためにボランティア作業に駆けつけて下さった方々など多くの人々にご参加いただいた。市内からの参加者は気仙沼の元気を発信するために、市外からの参加者は気仙沼市民を元気にするために、それぞれの思いが踊りに込められ、その思いが最大限に発揮される場となった。

はまらいんや踊りの曲は、気仙沼市出身バイソン片山氏が率いるバイソンバンドが担当、途中、気仙沼ゆかりのゲストも演奏に参加するなど、みなとまつりならではのにぎやかな演奏を披露した。ステージ上ではバイソンバンドと一緒に地元の小学生が掛け声隊として熱唱し、楽しい踊りに花を添えてくれた。また、気仙沼市内の打ちばやし団体が踊りコースの交差点ごとに太鼓を設置して演奏し、特別に威勢のいい太鼓の音で元気に祭りを盛り上げてくれた。

インターバルの間には、東北楽天ゴールデンイーグルスの草野大輔アンバサダーと井上純ジュニアコーチがステージに登りミニトークショーを開催するなど、踊り以外にもバリエーションに富んだ内容となった。

なお、本年は「はまらいんや大賞」を設けていなかったが、大賞の復活を望む声も聞かれており、今後、検討しなければならないように思われる。

(参加53団体、約2,500名)

<8月11日(日)>

(4) 「打ちばやし大競演」

午後5時から内湾臨港道路を会場に「打ちばやし大競演」が実施された。3年ぶりの「打ちばやし大競演」は、震災でなくなられた方々の御霊の更なる安らぎを祈る一分間の黙祷を行った後、富山県船籍のサンマ漁船「第八十一豊清丸」の汽笛を合図に始まった。

市内の和太鼓団体を中心に近隣所在の太鼓団体も含めて26団体、約800名が打ち手として参加、約300mの臨港道路には和太鼓600基余りが並び、勇壮な太鼓の音が港一帯に響きわたった。

今回は、例年内湾で運航されていた「海上うんづら」を陸上にしつらえて、これをメ

インスタージに打ちばやし大競演が繰り広げられた。復旧途上の臨港道路を会場としたため、観覧や演奏にはある程度の制約も設定した行事運営であったが、演奏の途中では虎舞も登場させるなどして、観客との一体感形成に努めた。また、今回は前述のサンマ漁船「第八十一豊清丸」中館漁労長ほか乗組員さんのご協力によって、同船舶搭載の最新鋭LED集魚灯も披露していただいた。

午後7時からの海上打ち上げ花火開始後も太鼓の演奏やサンマ漁船集魚灯の点灯は続けられ、海上の花火と岸壁のサンマ漁船の光、そして陸の太鼓が織り成す港町気仙沼ならではの祭り風景を復活させることができた。

(参加26団体、約800名)

(5) 海上打ち上げ花火 (LIGHT UP NIPPON 東日本大震災被災地一斉打上花火)

LIGHT UP NIPPON 実行委員会による東日本大震災被災地一斉打上花火が本年も8月11日午後7時から5分間行われた。坂本龍一氏のピアノ演奏による赤とんぼをBGMに花火が夕空に広がった瞬間、震災当初から復興途上の今日までのさまざまな思いが詰まった言葉にならない声が多く、多くの来場者からもれて、それはどよめきとなってまつり会場をおおった。この間、太鼓の演奏は鎮魂の花火のため停止されていた。

午後7時20分から海上打ち上げ花火は再開され、合計約2,400発の花火が打ち上げられた。打ちばやし大競演の太鼓演奏と合わせて、みなとまつりはクライマックスを迎えた。

(6) 『出店』

従来の設置場所である「海の道」付近は岸壁の復旧工事により立ち入り禁止となっており、「出店」については、船員憩いの広場前の道路とアサヤ様の介護センター跡地を会場に設営された。

市内業者を主体に20店舗余りが出店、近隣に営業店舗が少なかったこともあり、多くの来場者でにぎわった。

4. 協賛行事などについて

(1) 海上自衛隊横須賀音楽隊気仙沼公演 (7月27日)

前夜より続いた大雨の降るさなかにもかかわらず、会場となった気仙沼市民会館には多くの市民の方々が詰めかけ、入場者は、午後1時からの第1回公演で1,074名、午後6時からの第2回公演で1,083名にのぼった。

演奏会は2部構成で、あわせて11曲が披露され、このうちの2曲で海上自衛隊東京音楽隊所属の三宅由佳莉3等海曹が歌唱で参加している。

なお、気仙沼公演前日の7月26日には、気仙沼市民会館と気仙沼中学校を会場に市内および近隣地域の小中学校の吹奏楽部員を対象とした楽器指導が行われ、また、同日の午後2時からは大島開発センターを会場に大島ミニコンサートも行われている。

(2) 佐渡裕&スーパーキッズオーケストラ演奏会（8月4日）

世界的な指揮者である佐渡裕氏と高校生以下の弦楽奏者で編成する「スーパーキッズオーケストラ」による演奏会で、東日本大震災の被災地を会場に昨年より続けられている。気仙沼市内での開催は今回が初めてで、気仙沼中学校体育館を会場に約300名の来場者があった。

演奏会に先立って公開吹奏楽クリニックも行われ、こちらには地元の中高生約60人の受講があった。

(3) 『LIGHT UP NIPPON スーパーソーラー縁日』（8月11日）

東日本大震災の被災地14カ所で花火を打ち上げる「LIGHT UP NIPPON」のメイン会場として、今年も気仙沼市が選ばれた。LIGHT UP NIPPON 実行委員会の主催により8月11日（日）の午前11時30分から午後7時まで、気仙沼小学校を会場として、有名アーティストなどによるステージ、協賛企業による展示ブースなどが設置され、中高生など若者を中心に多くの市民の方が訪れた。日中の降雨により会場がぬかるんだ状態となった。

(4) 『南町紫市場 ‘13夏まつり』

8月10日（土）、11日（日）の2日間、南町紫市場を会場に市内の打ちばやし団体による太鼓競演、特設ステージでのライブなどが行われた。

8月11日（日）は、会場付近の市道を歩行者天国とし、子供みこし、炊き出し、縁日などを開催した。

(5) 『POKEMON with YOU キャラバン2013』

8月11日（日）午後2時～午後8時まで港町スガノ興産(株)様の駐車場で開催された。子供に人気のキャラクターイベントであったため、親子連れでの来場者が多く、小さい子供が会場で配付された紙製の帽子をかぶってまつりの花火を眺めている姿が多く見受けられた。

5. みなとまつり期間中の天候

◇ 8月10日（土）

前日までとは変わって、気温は一気に上昇、陽射しも厳しく、参加者や来場者には大変厳しいコンディションとなった。こまめな水分補給と日陰での観覧を呼び掛けるなどして、熱中症の予防に努めた。 (最高気温 33.9度)

◇ 8月11日（日）

早朝と昼ごろにまとまった降雨があったが、雲行きを見計らいながら準備を進めた。打ちばやし大競演開始時間には降雨の心配は無くなっていた。

海上打ち上げ花火の時間帯は風が少なく、湿気もこもっていたため、花火の煙がとどまった状態にあった。 (最高気温 28度)

6. 人 出

まつり当日の人出は、8月10日（土）が31,000人、8月11日（日）が32,000人だった。

8月10日（土）は、同じ行事の前回平成24年8月12日（日）の30,000人から1,000人の微増、8月11日（日）は同じ行事の前回平成24年8月11日（土）の15,000人からほぼ2倍の人出となった。打ちばやし大競演の復活や港町臨港道路での協賛行事による効果と推測される。

7. シャトルバスほか交通機関の臨時便について

シャトルバスは、気仙沼市内バス会社3社に依頼し、8月10日（土）は5つのコースを、12日は7つのコースを運行した。

8月10日（土）

- ①九条小学校・気仙沼向洋高校 ⇔ 市立病院入口（利用者 延べ 60人）
- ②松岩小学校 ⇔ 市立病院入口（延べ180人）
- ③気仙沼西高校 ⇔ 反松公園住宅前（延べ220人）
- ④唐桑ルート（中井小学校他 ⇔ 南郷）（延べ 10人）
- ⑤一関ルート（千厩駅前他 ⇔ 市立病院入口）（延べ 10人）

8月11日（日）

- ①気仙沼高校・九条小学校・気仙沼向洋高校 ⇔ 河原田（延べ260人）
- ②松岩小学校 ⇔ 河原田（延べ360人）
- ③気仙沼西高校 ⇔ 河原田（延べ200人）
- ④条南中学校 ⇔ 河原田（延べ200人）
- ⑤旧南気仙沼小学校 ⇔ 市民会館前（延べ200人）
- ⑥唐桑ルート（中井小学校他 ⇔ 煎餅坂・河原田）（延べ 40人）
- ⑦一関ルート（千厩駅前他 ⇔ 煎餅坂・河原田）（延べ 20人）

気仙沼線 BRT については、JR 東日本で8月10日と11日の両日、午後8時30分気仙沼駅発本吉駅行きの臨時便を2台設定していただいた。

8月10日（土） 1号車30人、2号車 2人、合計 32人

8月11日（日） 1号車70人、2号車40人、合計110人

大島汽船については、8月11日に大島行き臨時便を2便設定していただいた。

午後8時10分発 「旅客船海来」

乗船者 大人162人 小学生 34人 合計196人

午後8時30分発 「フェリー亀山」

乗船者 大人 71人 小学生 14人 合計 85人

2便合計 大人233人 小学生 48人 合計281人

8. 出 動（2日間の延べ人数・カッコ内は第61回での延べ人数）

| | | |
|------------------------------|---------|-----------|
| 気仙沼警察署 | 181人 | （約210人） |
| 気仙沼市交通指導隊 | 66人 | （ 64人） |
| 気仙沼市防犯実働隊 | 102人 | （ 103人） |
| 気仙沼海上保安署 | 14人 | （ 10人） |
| 気仙沼消防署（消防本部含む） | 90人 | （ 40人） |
| 気仙沼消防団 | 88人 | （ 90人） |
| 気仙沼市役所 | 約270人 | （約180人） |
| 気仙沼市青少年支援センター | 14人 | （ 9人） |
| 自主警備臨時職員 | 47人 | （ 34人） |
| 自主警備・警備艇 | 13人 | （ 13人） |
| 警備会社 | 90人 | （ 120人） |
| 気仙沼商工会議所 | 約60人 | （約 60人） |
| 気仙沼地域開発 | 約40人 | （約 40人） |
| 気仙沼復興協会 | 約40人 | （約 40人） |
| LIGHT UP NIPPON ボランティアツアー参加者 | 約25人 | （約 20人） |
| 早稲田大学学生ボランティア | 約110人 | （約100人） |
| 明治大学阪井ゼミ学生ボランティア | 約15人 | （ ー ） |
| 合 計 | 約1,265人 | （約1,133人） |

9. 警備・交通規制

8月10日（土）は、午後2時～午後9時まで田中前大通りのモスバーガー付近交差点から朝日生命付近交差点までを車両進入禁止とし、一本北側の市道を東行き、一本南側を西行きの一方通行道路として設定して、交通混雑の緩和に努めた。

8月11日（日）は、午後2時～午後9時まで港町臨港道路を車両進入禁止道路としたが、メインステージ解体にともなう通行規制の準備に時間がかかり、車両進入禁止の規制解除は午後9時40分ごろとなった。また、例年、車両進入禁止としていた魚町については規制を行わなかったが、エースポート跡地駐車場や大島行きフェリー発着所の利用者が混雑が発生した。これら反省事項を踏まえて、次回以降、交通混雑の緩和策について検討しなければならない。

なお、会場地域以外では、潮見町、朝日町、川口町の一帯を午後5時～午後8時まで車両通行禁止区域にした。

港町から魚町までの岸壁については、危険防止のためバリケードを設置した。

10. 事 故

まつり期間中に会場付近で発生した事故等の件数は以下の通り。

人身事故1件：8月10日（土）田中前ファミリーマート駐車場

エコステーション設置準備のボランティアさんが車両と接触。

物損事故1件：8月10日（土）午前9時50分ごろ

田中前会場付近にて、車両が電柱に衝突。

けが2人：8月10日（土）

来場者が会場を歩行中、足の指にけが。本部消防署員が手当て。

：8月11日（日）

来場者が会場を歩行中、転倒。本部消防署員が手当てし、搬送。

遺失22件、拾得物33件、迷子3人、酔っ払い保護2件、熱中症5人。

気仙沼海上保安署、気仙沼警察署、気仙沼消防署ほか警備に携って頂いた各団体の協力に感謝を申し上げます。

11. 清 掃

まつり会場内にエコステーションを設置し、今年も学生ボランティアの呼びかけにより、来場者には分別の徹底やゴミの持ち帰りにご協力をいただいた。

会場周辺の清掃は8月11日（日）早朝に田中前大通り周辺地区を、8月12日（月）早朝に内湾地区および港町地区を下記の団体にご協力いただいて実施した。

早朝清掃協力者

気仙沼シルバー人材センター、市民憲章（協）、（株）気仙沼商会 海友婦人会
気仙沼市役所、気仙沼海友会、商工会議所、（株）小野良組、市婦連、清港会

なお、田中前地区については、付近のお住まいの方々や事業所の方々が定期的に清掃や草取りなどを行っており、今回もきれいな状態で祭りを実施できた。

また、港町臨港道路付近では大地震による地盤沈下で冠水の影響がみられるなか、当日の早朝や昼ごろの降雨により打ちばやし大競演の演奏場所や出店の設営場所等で水たまりが発生していた。これらについては、市役所職員の方々やボランティアスタッフの方々が水はけ作業を行ったことで、まつり開始までの間に解消できた。